



イカには、どうして骨がないの

イカは、かたい殻をもつカイと同じグループ

イカは、動物を大きく仲間分けしたとき、「なん体動物」のグループに入ります。このグループには、カイやカタツムリの仲間、イカやタコ、オウムガイなどの仲間がいます。

このグループの先祖は、大きなカタツムリの殻にイカが入ったような、アンモナイト(化石で有名)などになります。

殻より、すばやく動けるほうを選んだ

イカやタコには、かたい安全な殻に入って、海底などでじっとしているより、すばやく動き回る生活方法のほうが、つごうがよかったです。ですから、イカは、やわらかいつつのような体の中に入れた海水を、ジェット噴射のようにふき出しながら、すばやく動き回る、今のような体になったのです。イカの先祖が昔もっていた貝殻のなごりが、イカの体にある、すき通ったペンのような形のうすい骨です。

水の中であらしている分には、骨はなくても、あまり不自由はしないようです。敵からにげられる、動くスピードさえあれば、がんじょうな殻がなくても、生きのびられます。

(監修・杉浦 宏)

チョッカクガイ

(アンモナイトの先祖)

